

生体内ネットワークの理解による難治性がん克服に向けた挑戦

プロジェクトマネージャー (PM)

大野 茂男 (順天堂大学 大学院医学研究科 特任教授)

代表機関: 順天堂大学

研究開発機関: 大阪大学、九州大学、京都大学、慶應義塾大学、公益財団法人がん研究会、神戸大学、順天堂大学、東京医科歯科大学、東京大学、徳島大学、名古屋大学、理化学研究所、琉球大学



研究開発プロジェクト概要

細胞生物学、イメージング技術、数理・AI技術などを統合的に活用して、膵臓がんなどの難治性がんの発症と悪性化の仕組みを明らかにします。それにより、2050年には、難治性がんの発症を予測して予防する事ができる社会の実現を目指します。

2030年までのマイルストーン

難治性がんを“治るがん”にするために、予防、診断、治療の革新的技術を開発する。

2025年までのマイルストーン

難治性がんを早期に発見するバイオマーカーや治療標的分子候補を開発する。



異分野融合によるALL JAPAN TEAM